

ふれあい

大代地区コミュニティ推進協議会

事務局；大代地区公民館 ☎ 364-8442

新年を祝う会を終えて

恒例になりました新年会も今年で、第九回目を迎えました。

当日は、大代全地域から九十名程の参加を頂き実施いたしました。

会長の挨拶で始まり、続いて各部長から新年の抱負を述べ、来賓の県議会議員等四人の方々からご祝辞をいただきました。

会場では、例年のごとく久しぶりの知人との再会を楽しむ風景が所々で見受けられ、お互いの親交を深められたことと思います。

また、舞台では有志の皆さんによる踊りやかくし芸の披露、それからカラオケにも多数の方が出演し、会を盛り上げていただき本当にありがとうございました。

来年も大勢の方々に参加していただきますよう、最小の経費で最大の新年会を計画したいと思います。

最後に前日の準備、当日お手伝いをいただきました役員を始め皆様には厚く御礼申し上げます。

コミュニティ推進部長 内ヶ崎勝夫

広報紙「ふれあい」に

もっと原稿を

広報紙「ふれあい」は、昭和六十一年に記念すべき第一号を発行して以来、現在まで十二年の歳月にわたり、地域の皆様の身近な情報誌として愛読いただいております。

これまで、原稿をお寄せくださいました多くの方々には紙上をもって、厚く御礼申し上げます。

大代地区コミュニティ推進協議会は、市内でも唯一の任意団体であり、様々な活動を通して、地域住民のふれあいの場として役割を担っております。

これからも同協議会の更なる発展のために、地域の皆様にはより一層のご指導、ご協力を賜りたいと存じます。

次に、一つお願いがございますが、ここ数年、広報紙に原稿を寄せられるのは、一定の方に限られております。出来れば、老若男女問わず幅広い分野からの投稿を期待しております。

どんな内容でも結構ですので、気軽に原稿をお寄せ願います。

なお、原稿をお寄せいただく場合は、コミュニティ推進協議会事務局（大代地区公民館内）へお願いします。原稿の締切日は毎月十日です。

広報部長 佐藤 基六



公民館活動に参加して

この地に生まれ、この地に育ち、この地に埋もれる人生を送っているにもかかわらず、これまであまり地域の皆様がどの様な活動をされておりますか分からないのであります。

一昨年定年で仕事をやめてから、公民館を中心としていろいろな活動があることを知りました。

各人の自己研鑽と、地域住民との交流を積極的に実践されて意義ある人生を過ごす皆様の拝見してすばらしいと感動いたしました。私も、これまで興味があつたわけでもありませんでしたが、仕事にかまけて特別な趣味もないのを良いことに他人事として見えてきました。昨年は私にもなにか出来るような教室に参加しようと思ひ、水墨画と男の料理教室に参加しました。

参加することには大変な勇気と大きなエネルギーが必要だと考えもしていませんでした。他人が手を取ってくれるものではなく自分で行動を起こさなければならぬと始まらないものです。満足する成果は得られませんでした。果敢に挑戦する参加者を見て、自分にも努力すれば出来るかと理解しました。しかし毎日繰り返し実践する事が条件であることは言うまでもありません。男の料理教室は、おいしい料理を自分で作って食べたい一心で参加しました。わいわい賑やかなうちにも、料理は予想通りおいしく出来上がりまし

た。水墨画はまだ海のものとも山のものとも判断しかねますが、これからの精進次第では、物になるのではと自己判断しております。また昨年は、グラウンドゴルフにも参加いたしました。八十才を越えられる方もおり、その元氣振りには何時も脱帽しておりました。公民館主催の各教室に皆様積極的に参加してみませんか。そこから新しい輪が大きくひろがって行くと思ひます。

川柳

大代中 小野 菊郎

恵まれぬ子らへと開ける貯金箱
星 繁子

良い年で声を掛け合う歳の市
高橋 操

忙しさがれ師走の山の風呂
千葉 祥子

宝くじつかの間夢の広がりぬ
山田美枝子

今年こそ今年こそはで年が暮れ
丹野さだ子

老いてなお師走に動く手が達者
鈴木 絹子

クツクツと笑いか泣きかおでん鍋
本郷 ひさ

魚釣り不況師走もなんのその
佐藤 秀子

初雪に心せかさる十二月
阿部うめよ

この師走越せば老いにも春の夢
木幡 茂

御祝儀 お見舞いは 三千元を限度にお返し物はしないようにお互い気を配りましょう

元旦登山

今回私が所属する山岳会では、二つのグループに分かれ岩手県五葉山へ一人、泉ヶ岳へ七人が参加し、元旦登山を行いました。

私が参加した泉ヶ岳へは、初日の出を期待しながら市役所を午前三時に出発し、泉ヶ岳駐車場まで約一時間で到着。準備をし四時十五分に登山開始、昨夜降った雪が薄すらすらと白くなっていったが雪は例年より大分少なくて歩くのは楽である。ライトを頼りに水神まで五分、休憩後再び山頂を目ざした。

急な登りが続くなか、視界が良くなってきたところで、眼下には仙台、名取の市街地の電灯の明かりが見えた。そして登ること約二時間で山頂に着。天気晴れ、気温マイナス六度、北西の風約三メートル、新雪三センチ、登山者約五十人程。標高一七二メートル、今年の泉ヶ岳山頂は冬では考えられない穏やかな山頂であった。風もなく星空である。

日の出時刻は六時五十三分なので、待つ間、山頂に祀ってある三吉大神にお神酒を供え、今年一年の無事故を祈願し参加者全員で乾杯をした。

待つこと三十分、地平線に雲があったが雲の間からの真っ赤な初日の出に手を合わせることができた。

顔見知りの登山者とあいさつを交し、七時二十分頃同じコースを下った。帰りに駐車場から見たスキー場は、

枯草だけだったので今シーズン、スキーできるのだろうかと皆で話をして駐車場を後にしたが、今の山頂はいつもの冬山となっているだろう。

東区 一住民

消防団からのお願

新年早々の一月八日、多賀城市消防出初め式当日に、大代四丁目佐々木宅が全焼する火災がありました。今年こそ地域から火災は出さないようにと、年頭の祈願した矢先なので、非常に残念でした。でも地域の皆様初め、消防署員の方達、自衛隊のポンプ車のご協力によりまして、延焼を免れる事が出来ましたので、本当にありがとうございます。今年は一十一年振りの大雪に見舞われ、道路も雪の山で通れない状態です。絶対火災を出さないように火の元にご注意願います。また各地で放火事件があり一月十日には、多賀城、塩釜に発生しております。

特に二、三月は春の乾燥期に入りますので、次のことに留意されて、放火されない環境作りに心掛けましょう。※空家や廃車空地の枯れ草等の管理を十分にして下さい

※外出するときや使用しない物置等には鍵を忘れずにかけて下さい

※住居付近の整理整頓をしましょう

我々消防団員も地域住民のため、頑張りますので、よろしくご協力の程お願いいたします。

第六分団分団長 柴 静夫

たごつくり教室終了

先月の十日(土)大代地区公民館を主会場に実施した「たごつくり教室」には、七十名の親子が参加し行われました。

当日は、仙台たごの会に講師を依頼し、約二時間かけて指導していただき、一生懸命取り組んだ結果、全員が思いのたごを見事に製作することができました。

その後、場所を緩衝緑地公園に移動し寒風の中、色とりどりのたごが、大空に舞い上がり成果も十分であったことと思います。

また、子ども会育成会の方からトン汁を持って成していただき、参加者相互の交流と親睦を大いに図り、有意義のうちを終了することが出来ました。

本教室のために、ご協力頂きました各地区の子ども会育成会の方々に対し厚く御礼申し上げます。



連載 読物

二代目花咲かじいさん「3」

若生一徳(大代西)

花咲かじいさんは、枯木に花を咲かせたという栄光をひきずり、世にもすぐれた人物としての誇りを、花ならぬ鼻にかけ、鼻もちならぬ存在となっていたのでした。

そのとき、貴重な灰があつて、灰を入れる籠があつて、灰を適宜にばらまいてくれた風に恵まれ、落葉してこたえてくれた枝々があつて、何よりも農作業の賜物、樹に登れる身軽さがあつてのこを、忘れ果ててしまったのでありましようか。

奥さんのたけばあさんもまた、話相手になるのを避けております。

夫からなるべく遠去かり、あくびを連発してやるせない日々を過ごしています。目じりのしわにひとときの愛嬌を示し、次々と押しかけてくる客人のもてなしに妙技を発揮してよるこぼれていたおばあさんであったのに……そうした事情を知らずにいるのは、すぐ隣に住んでいる謹慎中の茂作じいさんだけのようです。

世間の人びとが花咲かじいさんの家に寄りつかなくなっているわけも……また自分がいつしか意地悪じいと呼ばれ、ちよつとした会話の中でも『意地悪じいさんみたい』が使われ流行語になっていることも……

(以下次号)